

フリースクール等連携協議会

&不登校相談会

6月10日、県立青少年センターにて行われました。午前中は、教育関係者とフリースクールの方と「これからの学校」をテーマに、小グループに分かれて話し合いをしました。

午後は、今年度初めての不登校相談会で した。164名、123組の方が相談に来 られました。鈴蘭学園の相談ブースにも5 組来られました。全体としては女子や小学 生が多かったように思えます。(中村 鳴美)



プラスパスイベントと二次会

八王子プラスパスイベント(不登校のご 家庭や子ども向けに、フリースクールや居 場所の情報発信をしていく会)2年目にし て、初めて対面で行われました。当日はあ いにくの雨の中でしたが、対面参加者は3 0人程で、オンラインでの参加者は90名 程でした。イベント終わり間近で島田療育 センターはちおうじの小沢先生から、「あ、 中村さんフリースクールの立ち上げ当初の 事など話をして下さい」といきなりの無茶 振りがあり、人前で話す事に慣れてない中 村の緊張感たるや…。その後、初めての対面 という事もありスタッフ皆さんや親御さん 何名かと二次会へ行きました。お蕎麦屋さ んで、オンラインでは以前からお顔を拝見 していました皆さんで乾杯をしました。ざ っくばらんにお話ができ、また、小沢先生の 人柄も良くわかり、対面での良さをしみじ みと感じました。小沢先生、これからもよろ しくお願いします。 (中村 鳴美)

お楽しみ会

7月7日、七夕の日にお楽しみ会を開催 しました。今回は JAXA 相模原と市立博物 館の2本立てです。

JAXAではロケットの構造や月・小惑星などの資料が展示されていました。ちょうど見学している最中に水星探査機「みお」の映像資料の上映もありました。子どもには難しい話もありましたが、宇宙に触れてわくわくできたらそれで十分です。



市立博物館では相模原の郷土史や実物の 隕石などに触れました。ちょうど七夕とい うことで笹が用意されており、皆で短冊に 願い事を書いてぶら下げました。最後にプ ラネタリウムで夏の夜空を観察しました。

比較的近場ということで、普段参加できない子どもたちが親子で参加してくれました。たまにはみんなでお出かけするのも 新鮮でよいのではないでしょうか。

(菅原 雅史)

親の会報告

7月15日(土)、鈴蘭学園・リリーベル合同の親の会があり、5組の保護者の方の参加がありました。今回は「ネットとの付き合い方」と題し、桑原が講師となって、インターネットとの「いい関係」作りのために今、何ができるのかを保護者の皆さんと考えてみました。ネットとの「関わり度合い」を知ろう!ということで、ネット依存に関する簡単なテストを行い、情報をどこまで信じて良いのか?ということを考えていただく内容で話を進めていきました。

まとめとして、ネットやSNSとどう付き合うか?と題し、お子さんと使い方について考える時間を作ることやネット等で流れている情報を鵜呑みにしないこと、そして、いろいろな「検索手法」を身につけて、情報を様々な視点から見ることも大切であることを話しました。会が終わった後も、お子さんの利用の仕方などについて、保護者さん同士で話し合っていました。私も一緒になって、子どもたちを取り巻く情報モラル事情について話しました。

次の機会が有るかはまだ分かりませんが、もし機会があれば、またいろいろなお話が出来ればと思います。どうも、有難うございました。 (桑原 和也)

鈴蘭学園リフォーム計画

鈴蘭学園が今の施設に移動してから約9年になります。引っ越してきた当時は、まだ法人格を取得しておらず任意団体でした。建物は当時からだいぶ老朽化が進んでいましたが、とうとう限界を迎えつつあります。NPO法人として新たな一歩を踏み出した鈴蘭学園を、会員の皆様と共に支えてくれた大切な存在でした。



そんな鈴蘭学園の建物ですが、8月より リフォームを始めます。工事に伴い8月1 4日より2カ月半を目処として、事業所を 近くのマンションに仮移転します。現在よ りも一回り狭くなってしまいますが10月 までですのでご容赦ください。工事が順調 に進めば、次の鈴蘭通信では新しくなった 鈴蘭学園をお披露目できると思います。皆 さまお楽しみに! (菅原 雅史)

新職員ご紹介

皆様初めまして、貞清裕介です。副理事 長であり、大学院の先輩でもある桑原和也 先生に声を掛けて頂き、そのご縁によって リリーベルで働くことになりました。

私は、高校生の時に漠然とした気持ちで 先生を志し、小学校、中学校(社会)、高等 学校(地理歴史・公民)の教員免許状を習 得できる大学に入学し、結果的にはそれぞ れの免許状を修得することができました。 大学在学中には、インターンシップや教育 実習で小学校や中学校、高等学校の教育現場を体験し、他には特別な支援を要する児童や生徒との宿泊行事をする企画・運営を 行うなど様々な子どもと関わる機会を得る ことができました。他にも、学習が遅れている児童や生徒への学習支援を行う事業に参加することもありました。学校現場や様々な子どもたちとの関りを体験したことにより、学校の先生という仕事の内容に疑問を感じて、学校現場ではなく大学院に進学し研究者として活動することにしました。 大学院では、近代の社会と教育の関係について研究を進めていき、昨年度、博士号を習得して大学院を卒業しました。

現在は、大学の講師を勤めながら、リリーベルの職員としても働くことになりました。リリーベルの職員として、大学時代で培った経験を活かし、子どもたちに寄り添い、ともに成長していけるようにしていきたいと思っております。若輩者ではありますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 (貞清 裕介)

リリーベル活動報告

日に日に暑くなって参りました今日この 頃ですが、熱中症をはじめとして体調を崩 しやすい季節ですので、皆様お体をご自愛 ください。リリーベルでは6月頃から、こ の猛暑によって外での活動をする機会が減 っていき、室内での活動が多くなってきま した。

そのようななか、7月7日には外での活動として境川で川遊びをしてきました。川遊びの当日は暑かったですが、川の水が冷

たく、涼しく過ごせました。境川には沢山の 海老やお魚も見つかり、子どもたちは川の 生き物をみたり、捕まえてみたりして楽し く遊んでいました。リリーベルに帰った後 は、子どもたちも疲れた様子でゆっくり過 ごしました。捕まえたお魚はリリーベルの 水槽で飼育していますので、近くにお越し の際にはご覧になっていってください。



6月のランチクッキング(料理活動)としましては、「ビビンバ」や「アジフライ定食」、「ミニピザ」、「キャベツ焼き」、「ペッパーランチ」を作りました。

特に、「アジフライ定食」では参加した子どもたちにとって人生で初めてとなる「アジの開き」をスタッフの見守る中、YouTubeの動画を参考に完璧にさばいて、揚げる事が出来ました。



6月最後のランチの「ペッパーランチ」ではホットプレートにご飯を載せて、肉やコーン・バターなどをトッピングして炒めていきました。調味料はお好みで、人によっては薄味?濃い味?とバラつきがあるのも面白いクッキングとなりました。

7月のランチクッキング(料理活動)とし



ましては、「サバの味噌煮」や「ハンバーガー」、「そうめんと焼きおにぎり」、「から揚げ」を作りました。

「サバの味噌煮」では、フライパンに一度で入りきるか気になるサバの量でしたが、無事に美味しいサバを食べることが出来ました。職員や一部の子どもは、大きい切り身を食べていたので、他より骨が多かった気もします・・・。

「ハンバーガー」では、好きな具材を挟んで食べる事が出来る「バイキング」形式で、子ども達は好きな具材をトッピングし

ていました。リリーベルファームで収穫し たジャガイモをハンバーガーのお供として、 フライドポテトにして美味しく頂きました。

以上が、6月と7月のリリーベルの活動 報告となります。今後も子ども達にとって の『やすらぎ』の場であることを願って職 員一同、頑張っていきたいと思います。

(貞清 裕介)



中村のちょっと心温まるお話

鈴蘭学園のリフォーム期間中に借りる移転先が、マンションの 4 階で、エレベーターが付いていません。子どもたちと場所の確認で行った時、「4 階まで中村先生大丈夫なの?」と、なんと優しい言葉かけ。子どもたちの方が体力はどうかなって心配なのに…。ありがとう!リフォーム中3ヶ月、本当に中村の膝が持つかどうか心配ですが、リニューアルした鈴蘭学園を思い描きながら子どもたちと一緒に、何とか乗りきっていきたいと思います。

お悩みの方、ご相談ください。

自信·活力·自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。 まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL:042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。